

## 令和8年度・教育目標の達成を目指して

**寺島**  
教育目標

一、深く考え自ら学ぶ生徒

一、心豊かで思いやりのある生徒

一、健やかでたくましい生徒

### Being Proactive（主体的である）

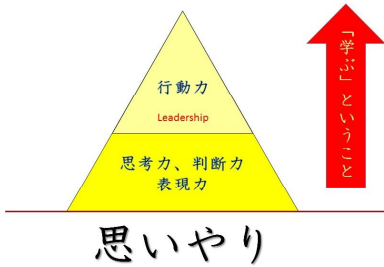
- ・「自分で決める」「決定に責任をもつ」態度
- ・今、何をすべきか（すべきでないか）正しく判断する力とその判断に基づいて行動する力
- ・他者と協働して、よりよい解決を目指す態度

### Empathy（「思いやり」というスキル）

- ・思いやり Empathy（他者の立場を想像・共感する力）「単に他人の気持ちを理解するだけでなく、その感情を共有し、支援する姿勢をもつことを含む、良好な人間関係を築くために非常に重要なスキル。

### Health Resilience（耐性・回復力）

- ・「からだ」体力の向上、健康増進
- ・「こころ」自分で決定し、責任を取る練習を通して高める。



「学ぶ」ということを通して、思いやりの上に立つ思考力・判断力・表現力と、行動力を身につける（川中子個人目標）

## 校訓 “Be proactive!（主体的であれ）”

**R8年度 寺島中学校 “Be proactive!（主体的であれ）”**

**特別活動**

生徒による、生徒のための行事・特別活動

- 生徒が企画・運営
- 真の民主主義の重視（同意形成「誰一人取り残さない」）
- 社会との連携

**学習**

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る

- 学習過程・学び方
- PBL
- 評価（チェック、テスト、通知表）
- 家庭学習
- ICT活用

**特別支援**

環境を整えるインクルーシブ教育の推進

- 5組
- ゆうあい学級
- SSR、カウンセリングルーム
- ユニバーサルデザイン

**一体的な働き方改革**

**地域・保護者**

CS、開かれた学校

- 学校公開
- 情報発信（各種通信、ホームページ、すぐる等）
- 校長「語りサロン」
- 学校評価アンケート
- 学校運営協議会、PTA、育成委員会との連携

**生活**

自治・自律 生徒が『主語』になる学校

- 「どうしたの」「どうしたいの」「手伝えることある」
- 民主的な生徒会活動
- 生徒が考え、決める「決まり（校則）」
- 礼儀・社会規範・法の重視（諸機関との連携）

**部活動**

生徒の主体的な活動へ

- 顧問
- 外部指導員
- 地域移行
- 保護者の協力

## 経営方針の基本的姿勢

令和の日本型学校教育の実現を目指し、生徒の主体性を引き出し、生徒が『主語』になる学校作りを進める。

### 学校経営の基本的姿勢 キーワード

- 生徒の人権・人格を尊重する。かつ、人権侵害を許さない。
- ユニバーサルデザインの視点を生かした環境の整備
- 個に応じた支援
- 「どうしたの？」（現状把握） 「どうしたい（なりたい）の？」（ゴールの設定）  
「何か手伝えることはある？」（問題を奪わない姿勢）
- 指示「～しなさい。」「～してはいけません。」ではなく、問い「どうしたらいいと思う？」という姿勢（「不親切教師のすすめ」）
- 「主体性」は、「遊び」の中に現れる。（生徒の「主体的な姿」は遊びに夢中になっているときの様子。）
- 「主体性」は協働的な活動の中でよく現れる。
- 教師主導の一問一答式一斉授業からの脱却を図る。教師の話す時間は10分以内。
- 「評価」観の改革＝形成的評価（Formative Assessment）の重視
- 一律の「宿題」の廃止 「やらされている」状態から、「やりたい」「やるべき」へ
- 言語力向上 読書、「書く」活動の重視
- 情報モラル、リテラシー
- からだところろの健康 たくましさだけでない、しなやかさ（Resilience）
- 外部人材や教育資源の活用（地域・保護者、ゲスト・ティーチャー）
- 攻めの情報発信（各種たより、ホームページの充実、「校長室動画通信」等）
- 「カッコいい大人」 生徒の「憧れの大人像」となる立ち居振る舞い
- パブリック・スピーキング
- 服務厳正
- 自ら学び続ける教師 組織的に研究・研修を行う学校
- 教職員教養向上部報の発行
- ライフ・ワーク・バランスを大切にする教職員
- 年6日以上「充電休暇（RL）」の取得

「子供の幸せを考えると、私は与えることよりも、奪わないことだと思うのです。」

黒柳徹子